

平成29年度 第1回二宮町生涯学習センター運営審議会議事録

日 時：平成29年10月12日（木） 午後3時30分より

場 所：二宮町生涯学習センター ミーティングルーム1

出席者：審議会委員／野村 幸雄委員長、橘川 昭夫副委員長、江見 千秋委員、
久保田 秀実委員、関口 金由紀委員、蓮實 茂夫委員、
三宅 栄子委員、目黒 美砂緒委員、
事務局／教育長 府川 陽一
教育部長 鐘ヶ江 学
生涯学習課長 椎野 文彦
生涯学習課生涯学習・スポーツ班長 武井 幹雄
生涯学習課員 川村 純

傍聴者：なし

1. 開 会

2. あいさつ

・野村委員長

3. 議 題

(1) 平成28年度の施設運営状況について

「ラヂアン使用状況報告」、「平成28年度二宮町生涯学習センター運営経費」、
「平成28年度二宮町生涯学習センター修繕・工事」について事務局より報告を行った。

(※議事に関する質疑応答のみを抜粋)

委 員 夜間の利用が少ないのは、使いづらいなどの理由があるのか。

事務局 全体的に活動の時間帯が日中になっているようである。

現在、駅前町民会館の廃止に伴い、文化、スポーツの団体を所管している課ということで一緒に進めているところである。移行は町民センター、体育館、武道館で、ラヂアンの話もちらほら来ているようだが、施設がよいので値段が高いという利用者からのご意見もある。生涯学習センターは利便性

もよく駐車場等も整っているため、利用者から受益者負担として使用料をいただくようになってしまうと説明させていただいている。

委員 休日というのは、土曜日は入っているのか。

事務局 休日は土曜、日曜、祝日になる。

委員 修繕にある、非常照明用電池交換が結構大きいのが、全部変えなくては行けないのか。

事務局 設置数についてすぐに正確な数がわからないが、施設内に100個以上あり、各部屋に大体1個から2個と、広さによって違うが設置されているもので、その中にあるバッテリーになる。停電などが起きた場合、室内の照明が消えてしまうため、非常照明の中に入っているバッテリーによって非常照明を点灯させるものになる。天井に付いている丸いものがそうである。

委員 これはLEDなのか。

事務局 LEDではない。LEDにする場合は器具の交換が必要となる。

委員 これに関連して、定期的に何年に1回というような、事前に予算計画にすることはできないのか。

事務局 保守点検で報告があったもの、直さなければいけないものについては予算に組み入れている。ただ、突発的に壊れてしまい、直さないと施設が使用できなくなってしまうようなものについては、内部でどういうふうに優先順位をもっていくかというのを調整しながら修繕対応している。今回の非常照明については、法令等に違反してしまうため、予備費で対応をした。今後の方向性だが、平成12年にオープンして20年弱経過をしているため、今後大規模改修に向けた計画に取り組んでいかなければならないということで折衝を始めたいと考えている。それまでに来年、再来年あたりに少し大きい工事をやらなければならないかなという状況である。

委員 冷暖房も時間が経つとやらなければいけない感じがするが。

事務局 その通りであり、どの機器自体もオーバーホールや更新が必要となっている

ため、それを含めた全体的な計画をしていかなければならないと考えている。

委員 積立金などはやっていないのか。

事務局 公共施設整備基金というのがあるのだが、ラディアンだけではなく、町全体の施設に係わるものになる。

(2) 平成29年度の管理運営について

「平成29年度二宮町生涯学習センター管理運営経費（予算）」、「平成29年度二宮町生涯学習センター修繕・工事・備品購入」、「IT サービスコーナー利用者数」について事務局より説明を行った。

委員 修繕料の関係で、28年度より減っているが、予算が確定しているため、どうしようもないとは思いますが、やはり突発的なものが多いのか。

事務局 現在もすでに出ており、その対応をしているところである。予算は今年度少ないが、運営に支障があれば補正予算や予備費で緊急対応を行う予定である。

委員 予備費はどこにあるのか。

事務局 予備費については、町予算の全体の予備費のため、生涯学習センターのみの予備費ということではない。

(3) その他

「利用者アンケート」報告

4. 閉会

17:00閉会